

「変わらないもの・新しいもの」

241017

昨日の幸中祭2日目、お疲れさまでした。とても楽しい時間でしたね。舞台発表で生徒のみなさんが見せてくれた姿、それを見守る姿。今の幸中を表す温かい雰囲気の中で行われたと思っています。生徒会役員の進行が上手で、そうさせた部分もあると思いますが、盛り上がり爆笑する場面と静かに聴き入って耳を傾ける場面のメリハリがしっかりとできていました。このようなのびのびと発表し、それを楽しむといった文化祭ができる学校ばかりではありません。本当に幸せな時間でした。このような文化祭ができる雰囲気も、変わらない幸中の伝統であると思っています。

また、午後からの全校ダンスも、3年生の昨年度からの思いと、これまで全校で積み上げてきた練習の成果を保護者の方に見ていただくことができました。みなさんの全校ダンスにかける思いが保護者にも伝わって、あれだけの人数の保護者が参観に来てくださったと思います。3年生は、「島唄」～「ライジングサン」と受け継がれてきた全校ダンスを「開幕宣言」へとつなぎました。そして、1・2年生は3年生が2年がかりで大切に育ててきたダンスを共有し、一緒に練習を重ねて創り出し、披露し、受け継ぎました。幸中祭のスローガン「KOCHU REVOLUTION」を体現し、一人ひとりが輝くフィナーレにふさわしいものになったと思います。そして、新しい幸中の伝統の開幕を宣言することにもなりました。

幸中祭を終えたみなさんが、今後どんな輝く姿を見せてくれるのかを楽しみにしています。